

ポリテクカレッジ修了生の活躍事例

ポリテクカレッジ成田の入校動機

実習が多く工業高校出身でなくても技術や知識が短時間で身につく、働くときに即戦力になると思ったからです。

千葉職業能力開発短期大学校成田港 生産後術科
平成29年度修了 山一電機株式会社入社 鈴木直弥氏

ポリテクカレッジ成田での実習

鈴木氏が学んだ生産技術科では設計から測定までの加工の一連の流れを学び、実習・実験をすることで確かな技術・技能を身につけることができます。

コメント

ポリテクカレッジ成田で特に印象に残っているところは、初めての实習で汎用旋盤と汎用フライス盤を操作したときです。正しく操作できるか不安でしたが先生方が丁寧に教えてくださったため、未経験の私でもすぐに技術が身につきました。

就職先企業での活躍

山一電機株式会社(千葉県佐倉市)

山一電機は、世界の半導体や通信企業の電機メーカーから自動車メーカーをお客様に、ソケットやコネクタ等の電子部品製造・販売しており、半導体検査用ソケットでは世界シェアトップクラスの企業です。生産製造の部門では、ソケット・コネクタに使用される微細なプレス加工部品、成型部品の生産から、金型の製作まで一貫して社内に対応しており、各種生産設備、工作機械も業界最高水準レベルのものをそろえ、専門メーカーに対抗する技術を保有しています。



入社式



金型製造課2台の
マシニングセンタ
を担当

職場での活躍

鈴木氏は現在金型製造部門で切削加工を担当し、汎用フライスからマシニングセンタまで使用し、NC機の操作においては3D-CAMの導入も任せられました。

鈴木氏のコメント

入社してすぐにポリテクカレッジで学んだ機械加工の分野に配属されたため、今まで学んだことを生かしながら働いています。今後はより早くマシニング加工ができるように切削条件を工夫するなど考えながら作業をしていきたいと思っています。



上司からの声

配属してすぐに工作機械を担当してもらいましたが、基礎知識が備わっており、早い時期で戦力になりました。

マシニングセンタやCAMも、自ら勉強しほぼ自力で操作をマスターし、周りの先輩も感心していました。

今後は切削加工だけでなく、現在携わっている金型や、プレス、成形加工等、広い範囲の知識を習得し、部門を引っ張って行けるような人材に育てて欲しいです。

製造部 金型製造課長 飯泉悟志